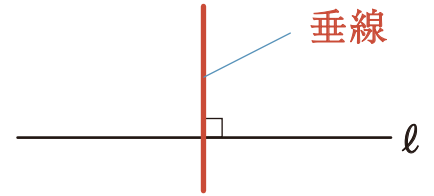


垂線のかき方

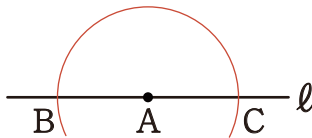
右のような直線 l の **垂線** をかくときは、コンパスを使って次のようにかくことができる。



直線上の点を通る垂線のかき方

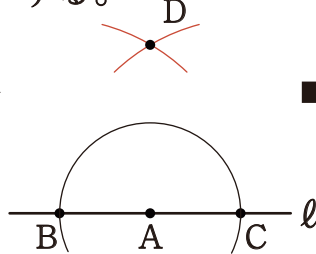
直線 l 上にある点 A を通る垂線は、次のようにかくことができる。

①点 A を中心として適当な大きさの円をかき、直線 l と円との交点を点 B 、点 C とする。



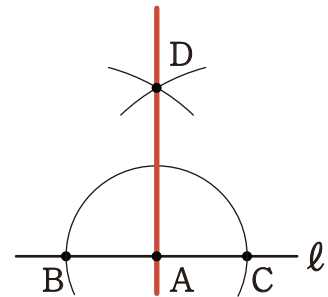
点 B 、点 C は点 A から等しい距離にある。

②点 B と点 C を中心とする同じ大きさの円を2つかき、その交点を点 D とする。



点 D は、点 B と点 C から等しい距離にある。

③点 D と点 A を結ぶ直線をかくと、直線 l の垂線となる。



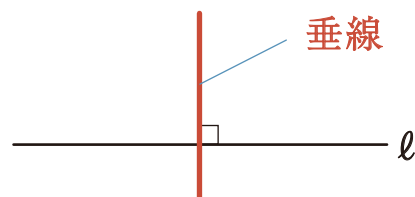
点 A と点 D は、それぞれ点 B と点 C から等しい距離にある。

1 次の点 A を通る直線 l の垂線を作図しなさい。



垂線のかき方

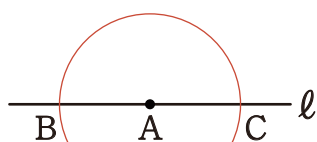
右のような直線 l の垂線すいせんをかくときは、コンパスを使って次のようにかくことができる。



直線上の点を通る垂線のかき方

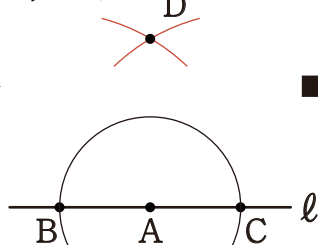
直線 l 上にある点Aを通る垂線は、次のようにかくことができる。

①点Aを中心として適当な大きさの円をかき、直線 l と円との交点を点B、点Cとする。



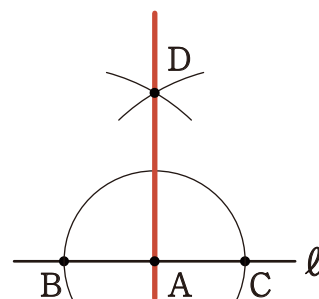
点B、点Cは点Aから等しい距離にある。

②点Bと点Cを中心とする同じ大きさの円を2つかき、その交点を点Dとする。



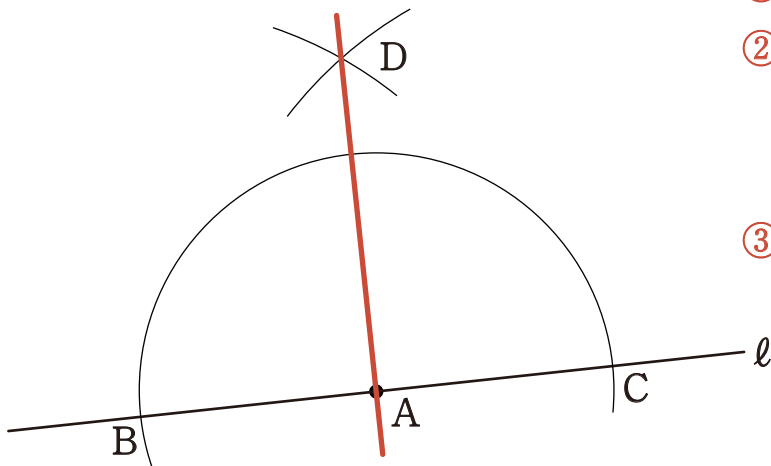
点Dは、点Bと点Cから等しい距離にある。

③点Dと点Aを結ぶ直線をかくと、直線 l の垂線となる。



点Aと点Dは、それぞれ点Bと点Cから等しい距離にある。

1 次の点Aを通る直線 l の垂線を作図しなさい。



- ① 点Aを中心とする円をかく。
- ② 円と直線 l との交点を点B、点Cとし、それらを中心とする同じ大きさの2つの円をかく。
- ③ 2つの円の交点Dと点Aを通る直線が、直線 l の垂線となる。